

## 1. 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症を発症すると、発熱や咳といった風邪のような症状がみられます。軽症のまま治癒する場合も多いですが、重症化し呼吸困難などの肺炎症状が悪化することで、死に至る場合もあることが特徴です。

## 2. 新型コロナワクチンの有効性

新型コロナウイルス感染症を発症した場合の重症化予防効果が期待されます。

ワクチン接種を受けてから1～2週間ほどで効果が表れ、約半年程持続するとされています。

## 3. 新型コロナワクチンの副反応

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、寒気、発熱等があります。稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。その他、ごく稀に接種後の心筋炎や心膜炎を疑う事例やギランバレー症候群が報告されています。接種後に気になる症状があった場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。

## 4. 定期接種対象年齢

(1) 接種日に満65歳以上の方

(2) 接種日に満60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓に重い病気がある方、呼吸器の機能障害や、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障害がある（障がい等級1級又は同程度と医師の診断書で確認できる）方

※ 接種義務はなく、本人が希望する場合に限り予防接種ができます。

## 5. ワクチン接種を受けることができない人

(1) 明らかな発熱のある人（※1）

(2) 重篤な急性疾患にかかっている人

(3) 以前に新型コロナワクチンを接種して重篤な副反応があった人

(4) その他、医師が不適当と判断した人

※1 発熱とは37.5度以上を指しますが、平時の体温を踏まえた上で判断してください。

予診票は大切な情報源です。接種を受ける本人が責任を持って記入し、正しい情報を接種医師に伝えてください。

## 6. 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

- ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人。
- ・過去に免疫不全の診断を受けた人。近親者に先天性免疫不全症の方がいる人。
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人。
- ・過去にワクチン接種を受けて、接種2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た人。
- ・過去にけいれんを起こしたことがある人。
- ・本ワクチンの成分に対してアレルギーが起こる恐れがある人。

妊娠中または妊娠している可能性がある人、授乳している人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。なお、かかりつけの産婦人科医に確認していない場合でも、予診医によりワクチン接種が可能と判断された場合は接種が可能です。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

## 7. 接種後の一般的注意

- ・ワクチン接種後30分程度は、接種医師とすぐに連絡できるようにしてください。
- ・入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ・普段通りの生活で問題ありませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ・その他、体調に異常を感じた場合は、接種医又はかかりつけ医に速やかに相談してください。

## 8. その他

新型コロナウイルスワクチンについてよく理解した上で接種を受けてください。気にかかることや分からないことは、担当の医師や、倉敷市保健所保健課にお問い合わせください。

生活保護世帯、中国残留邦人等の支援助給者又は市民税非課税世帯に属する人には自己負担の軽減措置がありますが**接種前に減免専用予診票の交付を受ける事**が必要です。

倉敷市電子申請サービスや予防接種専用電話（086-434-9807）で申請してください。

### 予防接種健康被害救済制度

新型コロナワクチンと健康被害について因果関係がある旨を厚生労働大臣が認定した場合、市町村長は健康被害に対する給付（医療費・医療手当・遺族一時金など）を行います。

### お問い合わせ先

倉敷市保健所保健課 感染症係

TEL 086-434-9810